

初期消火大会に参加

9月14日、若狭地区防火推進協会主催、第30回初期消火技術大会が、若狭おばま食文化館前小浜漁港用地で開催されました。

初めて参加した私は「初期消火技術」と聞いててつきり消火訓練と思いこみ、見学と簡単な実技くらいかな～と軽く考えておりましたら、いやはや、そうは甘くなく、消火活動に関するチェック項目とタイムで順位を競う運動会といったものでした。

そうです、まるで障害物競争の障害が消火活動という感じです。

20団体、48チーム延べ132名が参加。まずは若狭消防音楽隊の演奏に合わせ入場行進、若手代表による選手宣誓と、ますます運動会めいてきました。

しかし、来賓の挨拶の時、消防署員の方が一斉にびしっと敬礼する姿を見て、会場の空気だけでなく私の身も引き締められました。

さて、参加選手を見渡すと、各団体、体育会系の若者が多く、“気持ち若い小浜西組町並み協議会はやや不利か？”と思われたのですが、なんと、複



合消火の部は女子・男女混成とも入賞、団体バケツ消火の部では、経験豊かな連携プレーで見事13チーム中5位入賞という快挙を成し遂げました。これも普段のチームワークが発揮された結果だと思えます。

初期消火は、日ごろからの声かけ・連携・協力と、コミュニケーションが一番大事で、実際の火災の際には、地域のお年寄りや子どもたちの安全確保が重要だと再確認いたしました。



うららかな秋の一日を心身ともに充実感いっぱいでもて終えることができました。

(活性化委員会 馬場淳子)

町家de祝言 花嫁行列を終えて

中田 宏幸



10月3日(土)に、小浜市長・西組の皆さまに列席いただき、町家de祝言を開催させていただきました。たいへん多くの皆さんに見守られながら、花嫁行列を行うことができたことは大変嬉しく思いました。

当日は天候にも恵まれ、ほの暗い町家の明かりの中で、印象的な花嫁行列をご覧いただけたことと思います。



行列が酔月に到着した時、沿道に多くの皆様が待ってくださるのを見た時は感動しました。

鏡開きの際は、喜びのあまり力が入りすぎ、お酒をかぶる一幕もありましたが、澤口会長・小浜市長からのお言葉や皆様とともに撮した記念写真など、今回の祝言は一生の宝物になりました。

また、祝言後の酔月での宴席も、小浜市・西組の温かみを感じる心安らぐものでした。このように思い出に残る花嫁行列ができましたのも、澤口会長はじめ、小浜西組町並み協議会の皆様のおかげです。また、準備段階から、佐野地域活性化委員長をはじめ、西組の皆様には大変お世話になりました。

西組の町並み・人柄は、花嫁行列にとっても合うと思います。こうした地域全体を祝言の会場にできたのは幸せなことです。

当日、市長ともお話ししましたが、皆でお祝いできる西組の優しさは移住・定住のア

ピールになるだろうと感じましたし、今回の町家de祝言が地域の賑わいづくりのお役にたてればと思います。

西組をこころの故郷として、これからも様々な機会でおつきあいさせていただきたいと思っています。

本当にありがとうございました。



ちりとてちん杯全国女性落語大会



実行委員準備の様子（上）と交流会風景（下）

平成27年9月26日（土）、27日（日）の2日間、第8回女性落語大会が開催されました。

4年前に全国女性落語大会の会場が小浜西組（常高寺とたる井）で行なわれて以来、協議会の数名が実行委員会のメンバーになっています。開催日まで10回の会議、舞台の設営、出場者へのパンフレット配布の準備等、前日まで作業を行ないました。

1日目の予選会は、サンホテルやまねとホテルせくみ屋で行なわれ、今年は65名が出場し、そのうち6名が決勝に残ります。6名は予選会の交流会の場で、ハラハラ、ドキドキを感じながら発表を待ちます。予選を勝ち抜いた6名は翌日サンホテルやまねで行なわれる決勝大会で競演しました。

最高賞のちりとてちん大賞は高座名“^{あまのやかじか}尼乃家河鹿”さん（兵庫県）で演目は有名な古典落語『ちりとてちん』を披露しました。

最高賞を受賞すると次回から出場資格がなくなる規則があります。受賞のインタビューで“^{あまのやかじか}尼乃家河鹿”さんは「お客さんに笑ってもらえると自分も調子ができて、楽しくできます。来年は交流会の司会をしているかな？」と又、みんなを笑わせていました。



ちりとてちん大賞受賞の“^{あまのやかじか}尼乃家河鹿”さん（兵庫県）

三丁町の街路整備に関する説明会



日時：平成27年10月8日（木）19時～21時
場所：庚申堂 対象：香取区、飛鳥区

都市整備課から具体的な設計図ができましたので、その図面をみながら説明をいたしますと挨拶がありました。

三丁町の街路整備は、電線地中化、側溝の改修、消雪装置などであり、都市整備課から「設計内容（平面図、断面図、構造図）」について、「地上機器」について、「各家への電線の立上げ管」について、「街路灯デザイン」について、続いて上下水道課からは「雨水渠^{きよ}」について、続いて文化課から「消火栓の整備箇所（案）」についての説明がありました。

地域住民の方は身近な事なので、熱心に説明をきいておられ、次のような要望や質問がでました。

- ・ 工事中、自家用車の駐車場を確保してほしい
- ・ 消火栓設置のお宅へ挨拶に行してほしい
- ・ 青井川をまっすぐ海の方へ流してほしい
- ・ 曲がっているので雨水が溢れてくる
- ・ 各家の工事費の負担を軽くしてほしい
- ・ 工事はいつから？期間はどのくらい？
- ・ 舗装道路のカラーは、海の色（ブルー）がよいと思う



町並み保存資料館 大型備品の移動行なう

平成27年10月12日（月・祝日）、午後1時から市文化課3名と当協議会11名（役員中心）で大型備品の移動を行ないました。

現在の町並み保存資料館は明け渡しのため10月19日から閉館となりました。新資料館はお向かいの元鹿島会館になりますが、改修工事の為、開館は翌年1月初旬となります。よろしくお願ひします。

